

外洋総務委員会 議事概要

2011年2月24日

文責：平井 昭光

日時：平成22年2月23日（水） 18:30～21:00

場所：株式会社トーヨーアサノ 3F 会議室

出席：植松眞 JSAF 副会長、児玉萬平 JSAF 常務理事、浅野英武委員、山本高靖委員、近藤等委員、平井昭光委員、大坪氏、事務局寺澤寿一
合計 8 名

議事概要：

<KYC セールナンバーの件>

- ・熊本外洋帆走協会（KYC）が 6500 番から始まる相当数のセールナンバーを発行している。（注：当該水域では 40 年前からこの方式をスタートさせている）
- ・JSAF の発行するセールナンバーは、現在、6537 番まで発行されてきており、KYC のナンバーとバッティングしている現状がある。
- ・KYC に JSAF の特別加盟団体になることを推奨する。
- ・この件について、KYC と話し合いの機会を持つようにする。
- ・取り敢えず、JSAF としては、つぎのような対応を検討している。すなわち、KYC の所属艇が IRC の申請に来た場合、その保有している KYC セールナンバーと JSAF の既発行セールナンバーがバッティングしていなければ KYC のナンバーを尊重して JSAF のセールナンバーを発行するが、もし、バッティングしていたら、新規の番号を取ってもらうこととする。具体的には、KYC セールナンバーの頭に 6 をつけて 5 桁とし、JSAF のセールナンバーとする。

<東京ヨットクラブの件>

- ・東京ヨットクラブから艇登録の業務を行いたいという連絡があった。
- ・基本的には、艇登録の数を増やす方向で考えたい。もし、なんらかの問題があるようであれば、別途手当を考えるべきではないか。
- ・児玉常務理事が TYC と話し合うこととした。基本的には、オーナーに不利益が起きないように受け皿を作っていただく、という方向で話し合う。また、JSAF 各専門委員会のバックアップを検討する。

<レース委員の件>

- ・JSAF レース委員会外洋系レース委員の件で、東北以北の委員が 1 名未定である。水域理事の木立理事に相談して推薦することとする。

<全日本ミドルボート選手権の件>

- ・全日本公認に関し、全員が JSAF 会員であるという規則上の要件の緩和を認めて欲しい、という要望があった。先の外洋会議で採択された、普及を目的とした今回限りの特例処置として公認いただくよう植松副会長から JSAF レース委員会黒川委員長にお願いすることとなった。

<安全委員会、国際 VHF 局（海岸局）取扱いの件>

- ・1999 年の JSAF 決定では、海岸局は、財産としては JSAF のものとなっているが、その維持費用は利用者負担となっている。
- ・維持費用の負担について、地域の実情に応じて良いあり方を検討することとする。

<その他>

- ・次回の外洋総務委員会は、4 月 14 日 18:30 からとする。

以上